

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	男鹿市 5260
地域名 (地域内農業集落名)	船川地区 (馬生目、仁井山、仁井沢、比詰、田中、金川、船川、南平沢、増川、女川、台島、椿、双六、小浜、門前)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	188.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	188.6 ha
② 田の面積	185.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	37.72 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	56.58 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化と後継者が少ない状況のため、地区内外から新たな担い手の確保が課題である。山間部の狭い農地や水はけの悪い農地も多く、全体的に耕作条件が悪いことから、農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、将来土地改良区の加入や基盤整備への取組みも含めた話し合いを行っていく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域農業を維持していくために、農地中間管理機構を活用して入作を希望する地区内外の認定農業者や認定新規就農者等の受け入れを促進していくことで農地の集約化を図る。主要の水稻から高収益の畑作物へと転換し安定的な収益が図れるよう努める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構を活用し、法人化や入作を希望する地区内外の認定農業者や認定新規就農者等の受入を促進することで農地の集約化を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	37	%	将来の目標とする集積率
			60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
法人化や入作を希望する地区内外の認定農業者や認定新規就農者等の受入を促進することで農地の集約化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、入作を希望する地区内外の認定農業者や認定新規就農者等の受入を促進することで農地の集約化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進め
(3)基盤整備事業への取組
生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、集落等の話合いの中で、将来土地改良区の加入・基盤整備への取組も含めた話合いを行っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地元の農家だけでは高齢化等により限界があり、農業法人の設立や外部から新たな担い手を探し対応を検討したい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業効率の向上が期待できる作業については、委託の活用を検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①水稻等有害鳥獣駆除(春・秋)や箱わな捕獲(園芸作物等)により農作物の被害防止に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

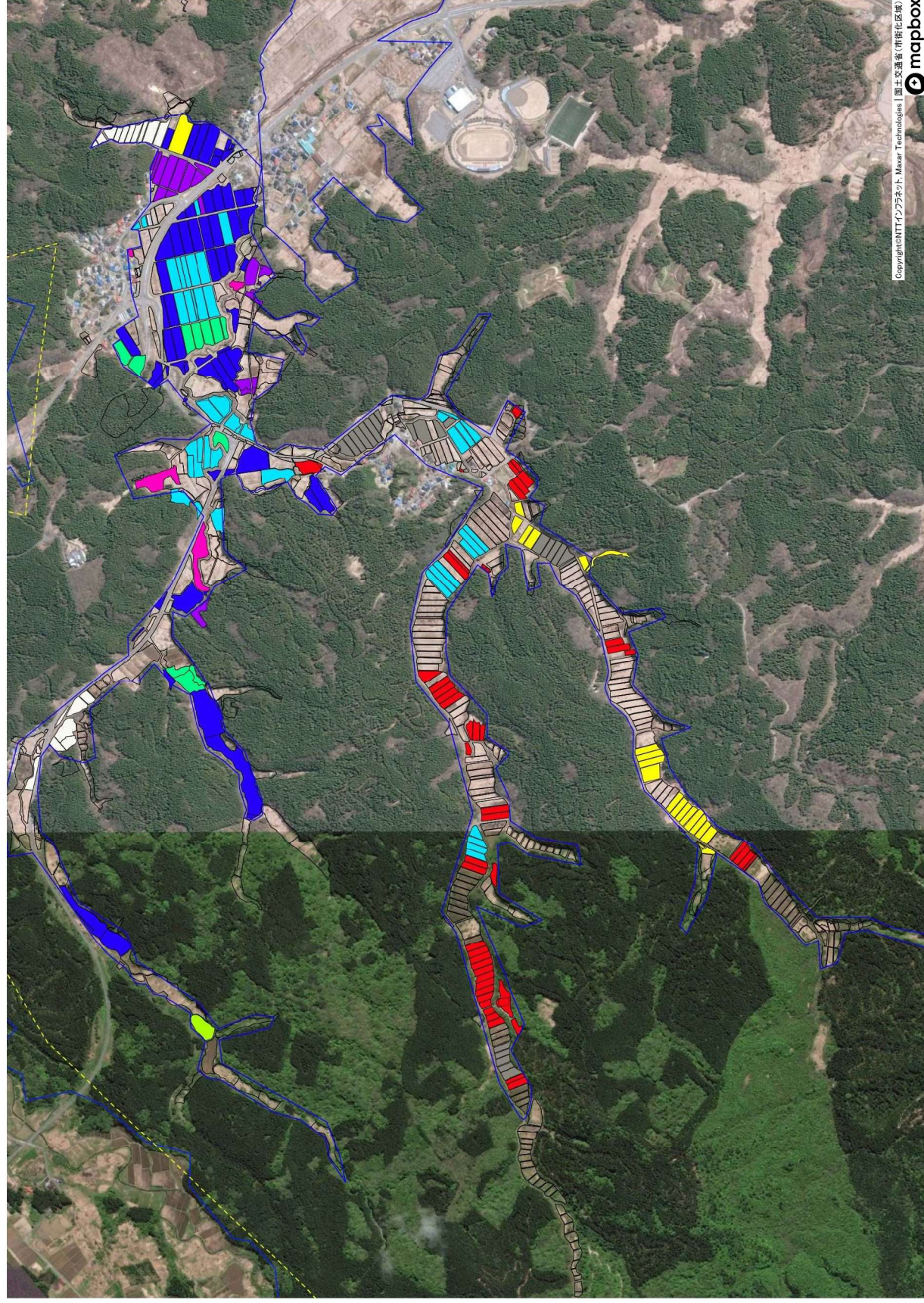
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

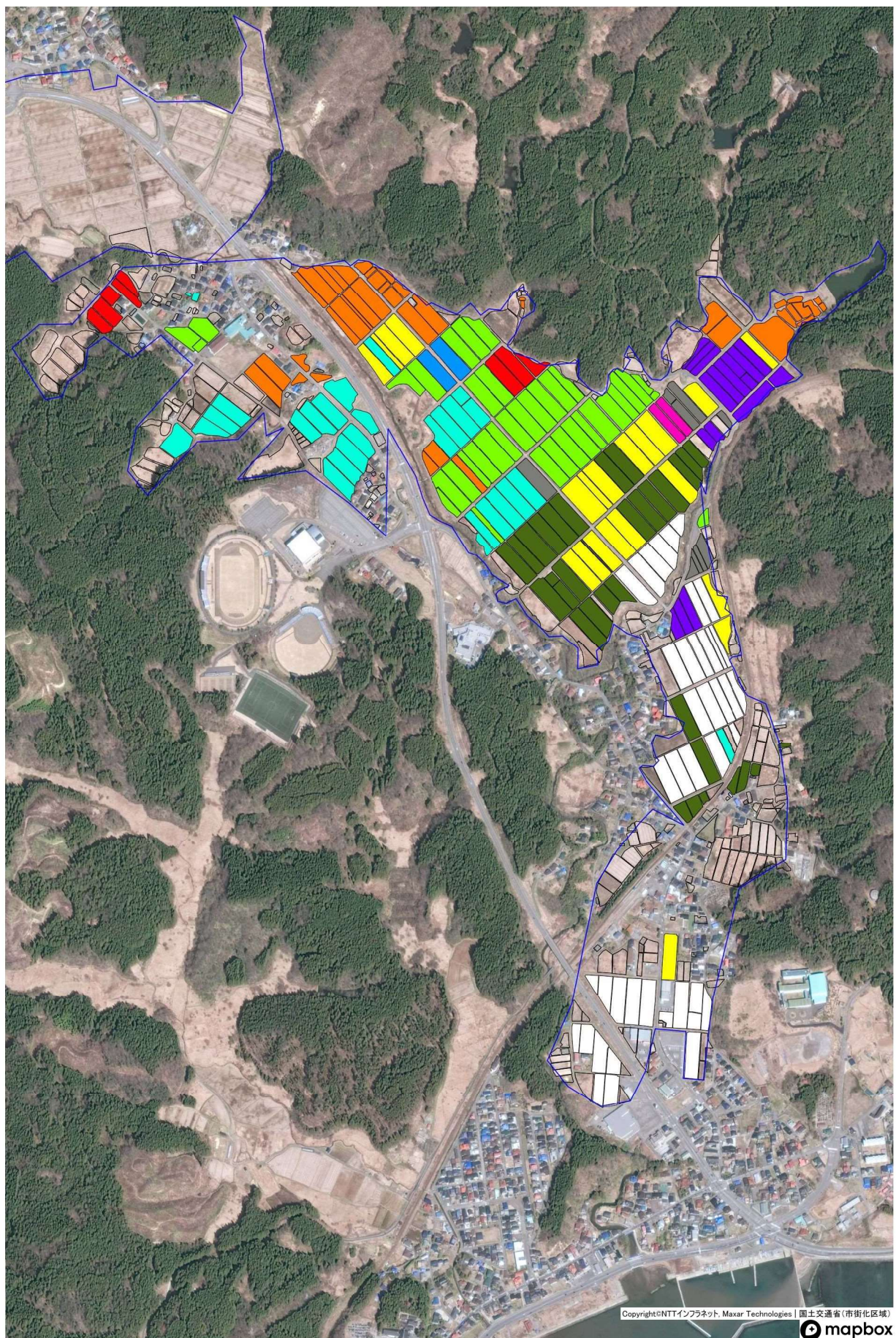
	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		水稻	5.6 ha	ha	水稻	5.6 ha	ha	仁井山A	
2	認農		水稻	9.2 ha	ha	水稻	9.2 ha	ha	仁井山E、比詰C	
3	認農		水稻	4.7 ha	ha	水稻	6.3 ha	ha	仁井山G、比詰F	
4	認農		水稻	4.9 ha	ha	水稻	5 ha	ha	仁井山J、比詰I	
5	認農		水稻	4.9 ha	ha	水稻	5 ha	ha	仁井山H、比詰G	
6	認農		水稻	8 ha	ha	水稻	8.2 ha	ha	仁井山I、比詰H	
7	認農		水稻	5.3 ha	ha	水稻	8.2 ha	ha	比詰K	
8	認農		水稻	0.3 ha	ha	水稻	5.8 ha	ha	台島B	
9	認農		水稻	8.2 ha	ha	水稻	13 ha	ha	仁井山D、比詰B	
10	認農		水稻	1.9 ha	ha	水稻	1.9 ha	ha	仁井山B、比詰A	
11	認農		水稻	1.5 ha	ha	水稻	2.3 ha	ha	仁井山C	
12	認農		水稻	4.4 ha	ha	水稻	6.4 ha	ha	比詰E	
13	認農		水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha	比詰J	
14	認農		—	— ha	ha	畑作	0.5 ha	ha	検討中	広域認定
15	認農		—	— ha	ha	水稻	2 ha	ha	台島A	広域認定
16	認農		水稻	4.7 ha	ha	水稻	4.7 ha	ha	双六A	
17	認農		水稻	4.7 ha	ha	水稻	4.7 ha	ha	仁井山F、比詰D	
18	利用者	空欄箇所	水稻等	118.9 ha	ha	水稻等	98.4 ha	ha	検討中	
19				ha	ha		ha	ha		
20				ha	ha		ha	ha		
21				ha	ha		ha	ha		
22				ha	ha		ha	ha		
23				ha	ha		ha	ha		
24				ha	ha		ha	ha		
25				ha	ha		ha	ha		
26				ha	ha		ha	ha		
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		
31				ha	ha		ha	ha		
32				ha	ha		ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		
34				ha	ha		ha	ha		
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		



- 凡例
- 担い手A
 - 担い手B
 - 担い手C
 - 担い手D
 - 担い手E
 - 担い手F
 - 担い手G
 - 担い手H
 - 担い手I
 - 担い手J

1 : 5500

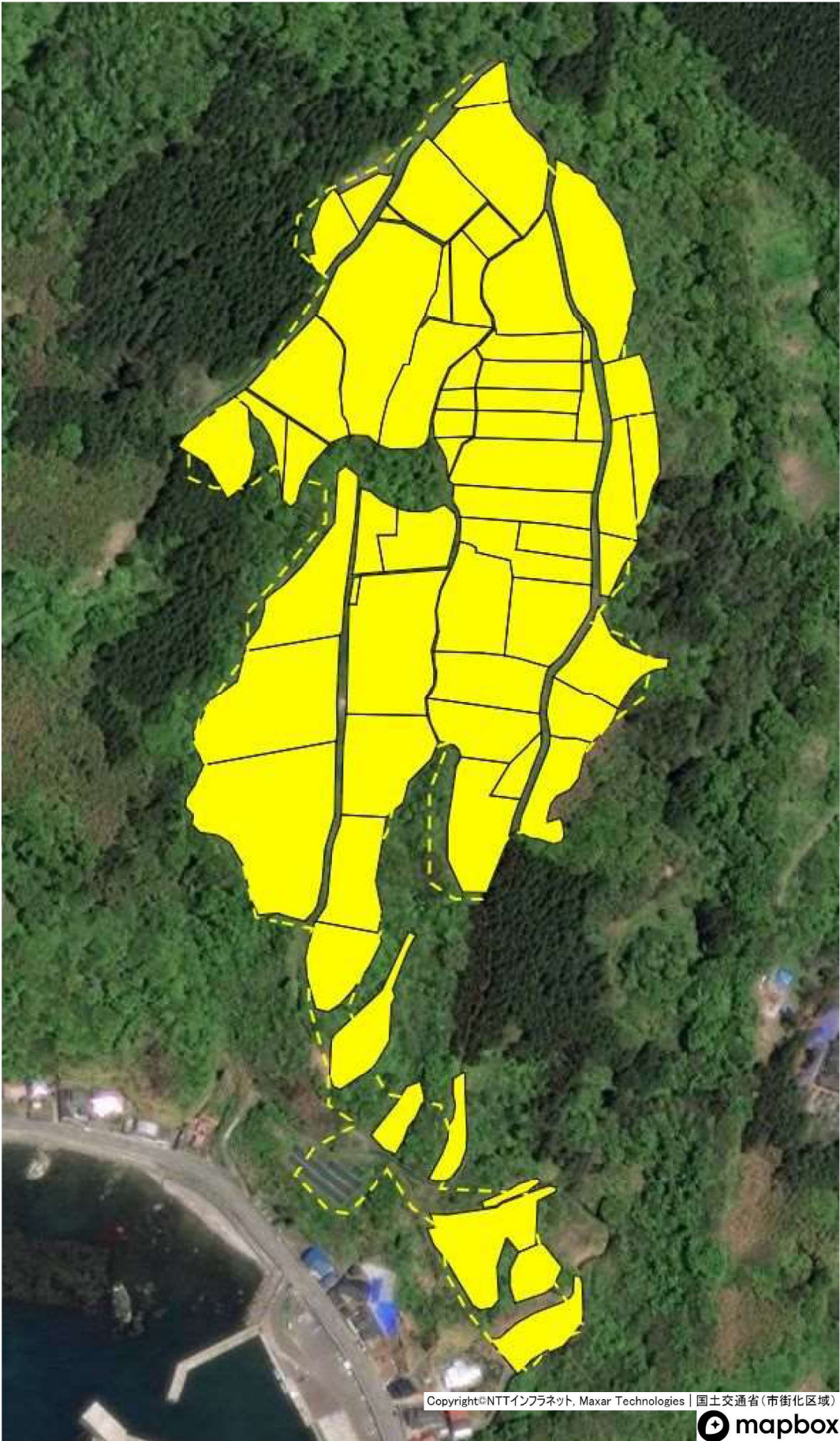
0 138 276 552



- 凡例
- 担い手A
 - 担い手B
 - 担い手C
 - 担い手D
 - 担い手E
 - 担い手F
 - 担い手G
 - 担い手H
 - 担い手I
 - 担い手J
 - 認定法人K

1 : 3700

0 92 184 368



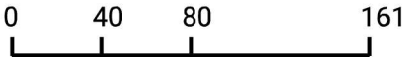
凡例

担い手A

Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省(市街化区域)



1 : 3000





凡例

■ 認定法人A

□ 認定法人B

1 : 10000

0 120 241 483